LIXIL
INAX

浴 槽

取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この浴槽を美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※ この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

取付業者の皆様へ
●この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。
●貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入のうえ、お客さまにお渡しください。

もくじ

各部のなまえ ……1

安全上のご注意 ……2

使用時のご注意 ……4

移乗スペース付浴槽の入浴のしかた ……4

ご使用方法 ……5

排水栓を開閉する ……5

お手入れ方法 ……7

お手入れのコツ ……7
汚れについて ……8
用意するもの ……9
お手入れの目安……10
浴槽のお手入れ……11
追いだき口（循環口）のお手入れ……11
風呂フタのお手入れ……12
浴槽排水口のお手入れ……12
浴槽下のお手入れ……14

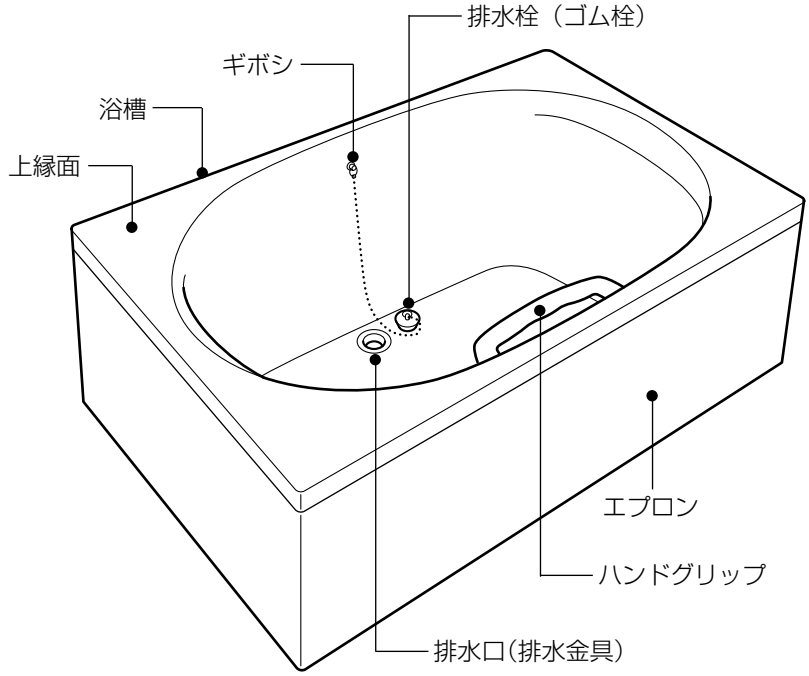
故障かな？と思ったら……16

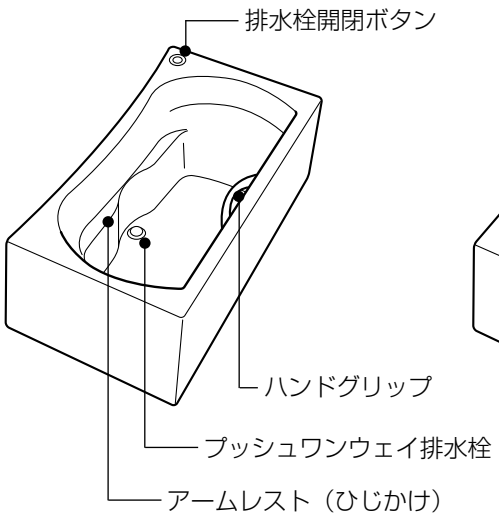
よくあるお問い合わせ……16
このような場合は使用を中止して修理を依頼してください ……16
このような場合は修理・交換を依頼してください ……16
修理を依頼されるとき ……17

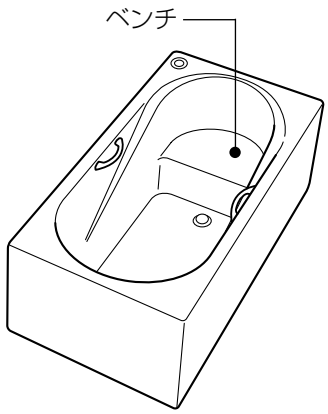
アフターサービスについて……18

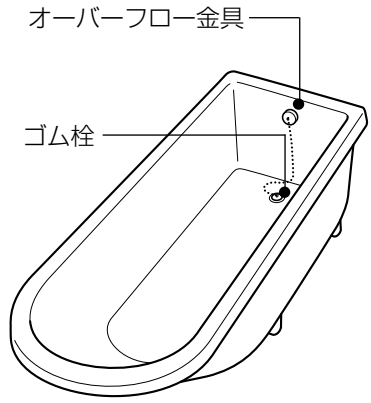
アフターサービスについて……18
定期点検について……18
廃棄について ……18

各部のなまえ









※ご使用いただく浴槽は上記イラストと異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※ 水栓の専用取扱説明書が商品に付属である場合は、専用取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 本体表示（ラベル）は、はがさないでください。

■表示マークについて

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告 **「取扱いを誤った場合に、使用者等が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」**

⚠ 注意 **「取扱いを誤った場合に、使用者等が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」**

■絵表示について

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

🚫 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「分解してはいけません！」

「指示した場所に触れてはいけません！」

❗ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●分解・修理・改造をしない

分解・修理・改造はしないでください。
破損（割れ等）したまま使用しないでください。
※ **感電や故障する恐れ**があります。

●水栓の取扱い

❗ 水栓は、それぞれの商品に付属の取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 誤った使い方をすると、**ヤケドや感電・ケガや故障の恐れ**があります。

●浴槽へのお湯張り

❗ 浴槽排水栓は、すき間がないように閉めてください。
お掃除等で排水コアを取り外した時は正しくはめ込んでください。（P.6参照）
また、追いだき機器をご使用の場合、水を循環口より10cm以上入れてください。
※ 追いだき機器をご使用の場合排水栓にすき間がありますと、湯が抜けて空だきによる**火災や機器が故障する原因**となります。

●風呂フタ

🚫 風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●幼児や身体の不自由な方の入浴

❗ 幼児や身体の不自由な方だけで入浴させないでください。
また、付き添って入浴される場合は、幼児や身体の不自由な方から目を離さないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●幼児だけで遊ばせない

❗ 浴室内で幼児だけで遊ばせないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

●自分で取り付けないで

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等にご相談ください。
※ 誤った取付けをすると思わぬ**事故や漏水の恐れ**があります。

浴槽内握りバーや握りバーがグラついたり、固定がゆるんでいるときは、必ず販売店にご連絡ください。
※ そのまま使用されると**ケガや破損の恐れ**があります。

ご自分で壁に穴をあけて、**握りバーやタオル掛**等を取り付けないでください。
※ **漏水の原因**となります。

●無理な力を加えないで

浴槽に飛び降りる等、無理な力を加えないでください。
※ 浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

エプロンに無理な力や衝撃を加えないでください。
※ エプロンが割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

●浴室内はすべりやすくなっています

浴室内は石けん液や入浴剤等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※ 転んで**ケガをする恐れ**があります。

●点検口

点検口に無理な力や衝撃を加えないでください。
※ 点検口が割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

●お手入れのときは必ずゴム手袋で保護してください

お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※ 突起部分やすき間等で**ケガをする恐れ**があります。

●溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流さないでください。
※ **漏水の原因**となります。

以下の水や入浴剤は使わないでください。
・水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
・硫黄系、酸（炭酸水素塩（炭酸水素ナトリウム等）、フマル酸を含む入浴剤等）・アルカリ系の入浴剤
・溶剤、オイル、アルコールを含む入浴剤
・粉末でお湯に溶けにくい入浴剤
※ **浴槽の変色やパッキン、目地材やゴム部品等を傷め、漏水の原因**となります。

固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※ **金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因**となります。

化粧品、アロマオイル等の薬品が付いた場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※ 付着したままの状態で放っておくと**漏水や変色、割れ等の原因**になります。

●目地のキズに気をつけて

目地やコーキング材が切れたり、はがれている場合は修理を依頼してください。
※ **漏水の原因**となります。

●浴槽・風呂フタ・追いだき口

浴槽の上に乗って、お掃除や電球交換を行わないでください。
※ 不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをする恐れ**があります。

付属の**風呂フタ**以外をお使いになる場合は、風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお選びください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

立てた風呂フタに無理な力や衝撃を加えないでください。
※ フタが倒れて**ケガをする恐れ**があります。

追いだき循環口に足をかけないでください。
※ 追いだき循環口が外れ、**転んでケガをしたり、ヤケドをする恐れ**があります。

アーバンシリーズ洋風バス（YB-1510）等に給湯器で追いだきをする場合は、浴槽裏面の追いだき金具部分が熱くなりますのでさわらないでください。
※ヤケドをする恐れがあります。

使用時のご注意

お願い

●使用用途について

この商品（大型バスを除く）は一般家庭用です。
業務用等一般家庭用以外で使用しないでください。
※ **寿命が著しく短くなる恐れ**があります。

●重いものや硬いものを落とさないで

重いものや硬いものを落とさないでください。
※ **キズの原因**となります。

●金属類を放置しないで

ヘアピン・カミソリの刃等を放置しないでください。
※ **サビが付着して取れなくなる場合**があります。

●火を近づけないで

タバコやキャンドル等の火気を近づけないでください。
※ **キズ・ヒビ割れの原因**となります。

●風呂水清浄剤について

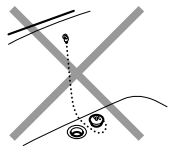
風呂水清浄剤（錠剤タイプ）を使用する際は、浴槽底に滞留しないようによくかきまぜてください。
※ **排水栓が劣化・腐食する場合**があります。

●吸盤付製品の使用について

吸盤等軟質の樹脂製商品は、樹脂部品に付けたままにしないでください。
※ **変色する恐れ**があります。

●イデアトーンおよびXSITE浴槽について

シャワーホース等の軟質塩ビやゴム栓等のゴム類を浴槽上に放置しないでください。
またイデアトーン浴槽の風呂フタは指定の専用フタをご使用ください。
※ **浴槽表面を傷める原因**となります。



●入浴剤の使用について

入浴剤入りのお湯を浴槽に入れたまま長時間放置しないでください。
※ 表面が**変色、変質する恐れ**があります。

●浴槽で漬けおき洗いをしないで

浴槽で漬けおき洗いをしないでください。
※ 浴槽が**変色したり、劣化する恐れ**があります。

●浴槽浄化保温機について

浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※ 継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

●ジェルステッカー・ジェリーグミは張らないで

ジェルステッカー・ジェリーグミ等は張らないでください。
※ **色が付着して取れなくなる恐れ**があります。

●冬期凍結の恐れがある場合について

凍結の恐れがある場合は、水栓、あわリズム各々の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※ 冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯器をご使用の場合は、給湯器の取扱説明書に記載の凍結防止処置を行ってください。
※ **破損や故障の原因**となります。

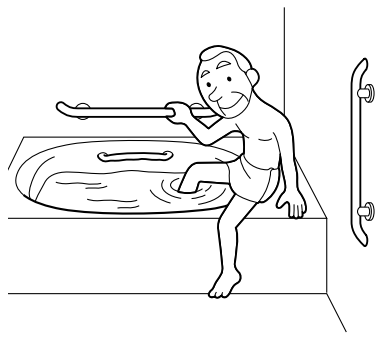
●風呂フタについて

風呂フタに重いものを載せたり、強く押したりしないでください。
※ **風呂フタがへこむ恐れ**があります。

移乗スペース付浴槽の入浴のしかた

❶ 移乗スペースに腰をかけます。

❷ 身体を回転させ片足ずつ浴槽に足を入れます。



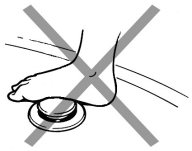
❸ 浴槽の上縁面の手すり部やハンドグリップをつかみ身体を安定させてからゆっくり腰をおろします。

ご使用方法

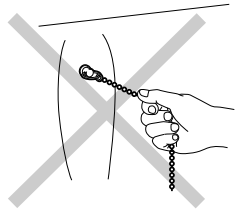
排水栓を開閉する

⚠ 注意

排水栓が開いた状態で排水栓（密閉栓）の上に乗ったり、荷重がかかった状態で、押ボタンを無理に押さないでください。
※ **排水栓が破損し、漏水や浴槽のお湯がたまらなかったり、お湯が抜ける原因**となります。

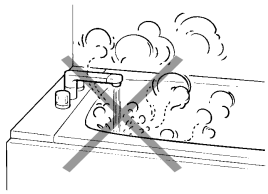


ゴム栓の玉くさりを強い力で引っ張ったり、玉くさりの取付部を無理に回さないでください。
※ **漏水や破損の原因**となります。



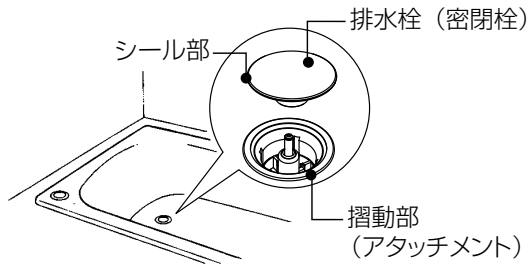
お願い

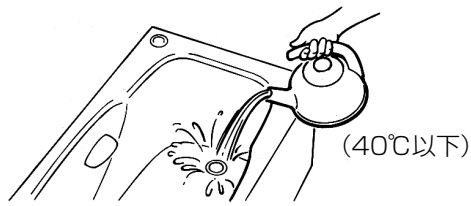
お湯は温度を調節して給湯してください。
※ 直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎると**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



お掃除等で、排水栓（密閉栓）や排水コアを取り外した後、再度取り付ける場合は正しくはめ込んでください。
※ **排水管の詰まりや悪臭の原因**になります。

冬期に排水栓のシール部や摺動部の水が凍結した状態で押ボタンを無理に押さないでください。
※ **破損の原因**となります。
凍結により押ボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。





■排水栓の種類

お使いの器具をご確認ください。

ゴム栓

プッシュワンウェイ排水栓

ご使用方法

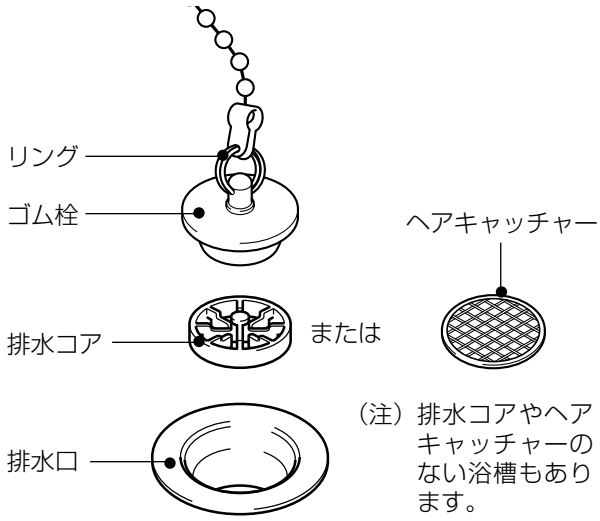
■ゴム栓の場合

お願い

ゴム栓を抜く場合は、チェーンを持たずにゴム栓に付いているリングを持って抜いてください。
※ **破損の原因**となります。

ゴム栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

※ ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れていく場合は、12ページのゴム栓のお手入れを参照して、排水コアまたはヘアキャッチャーを正しくはめ直してください。



■プッシュワンウェイ排水栓の場合

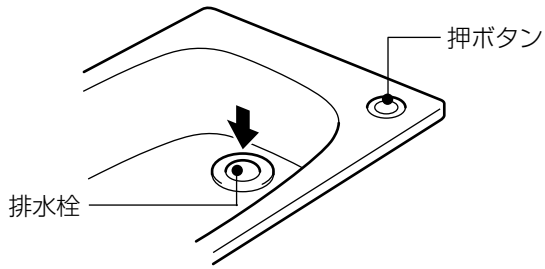
お願い

押ボタンはゆっくりと操作してください。
※ 勢いよく操作すると、排水栓（密閉栓）や押ボタンが外れたりずれたりして、正しく開閉できない可能性があります。

押ボタンを押して排水栓を開閉します。

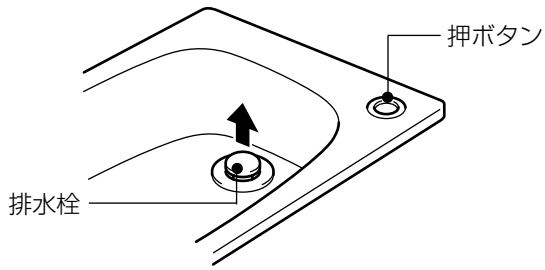
● 浴槽にお湯をためるには
押ボタンを上げた状態にし、排水栓を閉めます。

お湯をためる



● お湯を排水するには
押ボタンを下げた状態にし、排水栓を開けます。

お湯を排水する



お手入れ方法

お手入れのコツ

■いつもキレイで快適なお風呂であるために

浴室は身体を清潔にするだけでなく、ホッとくつろいだり、家族でワイワイ入浴したり、心豊かなひとときが広がる素敵なスペースです。そんな浴室はいつもキレイであって欲しいもの。
ここでは、浴室をキレイに保つポイントをご紹介します。

■毎日のお手入れについて

浴室のお手入れはガンコな汚れを作らないことが大切です。
そのためには、浴室に最後に入浴された方がその日の汚れを落とします。
※汚れはまだ濡れている間に落とした方が、楽に落とせます。

❶ 少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。
❷ こびりついた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。
❸ 水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。
❹ 残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。
※換気扇は翌朝まで回すことをお勧めします。

■汚れの種類とお手入れの道具、目安について

汚れについて　　・・・P.8
汚れの種類はさまざまで、汚れによりお掃除方法も異なります。

用意するもの　　・・・P.9、10
お掃除に必要な洗剤や道具を用意します。

お手入れの目安　　・・・P.10
「毎日のお手入れ」で残ってしまう汚れや、商品の性能を維持するために、お手入れの目安を参考に「定期的なお手入れ」をします。

洗剤、道具を使うときの注意
●浴室を傷めるため、使ってはいけない洗剤、道具がありますのでご注意ください。
●どのようなタイプの洗剤、洗浄剤でも、浴槽等へ塗布後はすみやかに水で洗い流してください。
※洗剤成分が残っていると表面が変色したり、変質することがあります。
●中性洗剤以外を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等のないことを確認ください。

■もしカビが生えてしまったら

カビはふくだけで落ちる場合もありますが、これだけではカビは死滅しません。カビが生えてしまった場合は、カビ取り剤を使って元から落とします。

※カビ取り剤は強力な洗剤のため、以下の点に注意して正しくお使いください。
●注意書きをよく読みます。
●ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
●肩より高い場所には直接スプレーしないでください。（顔や衣服に付着する恐れがあります。）
●長時間放置したり、洗剤を残さないでください。（変色や変質、金属のサビ、ゴム部品の劣化の恐れがあります。）

手順
❶ ゴム手袋、マスク、保護メガネ等を着用します。
❷ 浴室のドアを閉めて窓を開けるか、換気扇を回します。
❸ カビが生えている場所にカビ取り剤をスプレーします。
❹ しばらくおいて、水で洗い流します。

お手入れ方法

汚れについて

■汚れについて

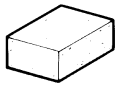
浴室の汚れは、意外と多く、お手入れ方法もさまざまです。
汚れの色から汚れの正体を特定し、それぞれに適したお手入れをされると効果的です。

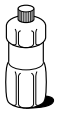
種　類	色	原因・特徴	予防方法	お手入れ方法
水アカ、 湯アカ	白 褐色	水道水に含まれるケイ酸が積み重なったもの。または、水道水に含まれるカルシウム等が酸素や二酸化酸素と結びついて炭酸カルシウムとなったもの。表面が白っぽくてざらつくのが特徴です。	毎日のお手入れをします。 ❶ 少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。 ❷ こびりついた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。 ❸ 水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。 ❹ 残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。 ※換気扇は翌朝まで回すことをお勧めします。	浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2～3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れに、浴室用クリームクレンザーを使います。 **ポイント** 浴槽用クリームクレンザーを使う時は強くこすらず、汚れ部分を4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。 ※ 銅イオンは新築当初等、銅管が新しい時に溶け出しやすく、通常は数ヶ月程度でおさまります。（水質によっては長びくこともあります。）
カルシウム 石けん	白 灰	石けん分や身体の脂肪分が水道水に含まれるカルシウム等の金属成分と反応してできるもの。表面が白っぽくてざらつく硬い汚れが特徴です。		
金属（銅） 石けん	青緑	配管や配管に使われている銅管、給湯器内部からわずかに溶け出した銅イオンと、石けんやアカに含まれる脂肪酸が反応してできるもの。		
カビ	黒 紫 ピンク等	温度・水分・栄養源（石けんカスや湯アカ、人のアカ等）がそろう場所で発生する微生物の一種。		入浴後は汚れが残らないように隅々まで洗い流し、換気を心がけましょう。カビが生えてしまったら、カビ取り剤で落とします。 ※ カビ取り剤を使用する際は、製品の注意表示をよくご覧ください。 ※ 詳細は、P7「もしカビが生えてしまったら」をお読みください。
ピンクヌメリ	ピンク	ピンク色のヌメリ汚れ。酵母が皮脂等を養分に発生してできるもの。		浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてお手入れします。浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れは、カビ取り剤をかけ、しばらくしてから水でよく流します。
ヌメリ	－	排水口周辺にできるヌルヌルした汚れで、水がたまっている排水口等に細菌がつき、汚れを栄養にふえるとき、ヌメリと臭いが発生します。	週に1回 ※ 詳しくはP12、13「浴槽排水口のお手入れ」をご参照ください。	
もらいサビ	赤茶	ぬれたヘアピンやカミソリ、スプレー缶等に発生したサビが付着したもの。または水道水に含まれる微量の鉄粉、外部から入った鉄粉等が付着したもの。	サビるものをぬれたまま浴室に放置しないようにします。	ガンコな汚れは、浴室用クリームクレンザーや歯磨き粉を布に付けて表面にキズを付けないようにやさしくこすり落とします。

お手入れ方法

用意するもの

汚れに適した道具と洗剤を用意します。
お手入れは効果的にしましょう。

道具	
スポンジ 	大きなやわらかいスポンジ（ウレタンフォーム製等）がお勧めです。 「**おすすめ便利グッズ**」 メラミンフォーム 水を含ませてやさしくこすります。 道具の注意書きをよく読みご使用ください。 ※こすりすぎるとキズが付いたり、ツヤが出ることがあります。 ※水栓の印字部分は消える恐れがあるので使わないでください。
やわらかい布	ぞうきんはもちろん、着古したＴシャツや、使い古したタオル等。 「**おすすめ便利グッズ**」 水切ワイパー、吸水性の高い洗車用タオル
ゴム手袋	中に綿素材の手袋をして、ゴム手袋をすると、肌荒れ防止になります。
歯ブラシ	使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。

洗剤	※カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読み正しくお使いください。		
種類		**洗剤（例）**	**注意**
浴室用合成洗剤（中性）	浴室の汚れに強い成分が配合されています。 「**おすすめ便利グッズ**」 スーパークリーナー万能Jrくん	お風呂のルック（ライオン）	※洗剤が残ると変色やシミ、割れの原因となります。 ※濃縮タイプの洗剤は、原液のまま使わないでください。
浴室用クリームクレンザー	微粒子の研磨剤が入ったクリーム状の洗剤です。	クリームクレンザージフ・バスクリーナー（ユニリーバ）	※こすりすぎるとキズが付いたり、逆にツヤが出すぎたりすることがあります。 ※常用はしないでください。
カビ取り剤 	カビを分解して取り除きます。	カビキラー（ジョンソン）	※長時間放置したり洗剤が残ると変色や変質、サビ、ゴムの劣化の原因となります。 ※カビ取り剤を使用する場合は、P7「もしカビが生えてしまったら」をご参照ください。
風呂釜用洗浄剤	発泡する泡で風呂釜や配管内部の汚れを落とします。	ジャバ（ジョンソン）	

※洗剤（例）も、汚れの種類や状態・使い方によっては効果がなかったり、浴室を傷めることがあります。

⚠ 警告

- カビ取り剤等の使用中、使用後は必ず浴室のドアを閉めて十分に換気してください。
- カビ取り剤を使用の際は、肩より上にスプレーしないでください。また、顔や服に飛沫がかからないようにご注意ください。
- 塩素系の洗剤、洗浄剤と酸性タイプの洗剤、洗浄剤を混ぜて使用しないでください。有毒な塩素ガスが発生します。（同時使用および前後の使用でも有害な塩素ガスが発生します）
- カビ取り剤を使用の際は、マスク・保護メガネ・ゴム手袋等を着用してください。

お手入れ方法

⚠ 注意

- 洗剤ラベルに記載されている使用上の注意をよく読みお使いください。
- 固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
  ※金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因となります。
- お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
  ※突起部分やすき間等でケガをする恐れがあります。
- 洗浄剤は、使用されている給湯器に適したものを使用してください。
- 化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
  ※放っておくと漏水や変色、割れ等の原因となります。

お願い

●使わないで
溶剤、薬品類等「×使わないで」に記載のあるものは使わないでください。

●洗剤を使用される時は
洗剤を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等ないか確認してください。

●金属類を放置しないで
ヘアピン・カミソリの刃等を浴室に放置しないでください。
※サビが付いてとれなくなる場合があります。

●吸盤付製品の使用について
吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※変色する恐れがあります。

●洗剤を長時間放置したり、残さないで
どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、塗布後すみやかに水でよく洗い流してください。
※洗剤分が残っていると表面が変色したり変質することがあります。

●カビ取り剤を使用される時は
カビ取り剤等を使用する場合は、必ず注意書きを読み正しくお使いください。
また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。
※カビ取り剤が残っていると表面が変色・変質することがあります。また、水栓金具やドア枠等にサビが生じたり、排水栓のゴム部が劣化することがあります。

✕ 使わないで	
表面にキズをつけ、傷めてしまう	●粉末クレンザー、磨き粉等研磨力の強いもの ●硬いスポンジ（金属タワシ、ナイロンタワシ等）、毛先の硬いブラシ
表面が変色したり、シミになる	●溶剤（ラッカー・シンナー等）、薬品類（アルコール・塩酸・アンモニア・苛性ソーダ等）、およびこれらを含む洗剤・洗浄剤 ●「酸性」の洗剤、「アルカリ性」の洗剤（カビ取り剤を除く）（※） ●オレンジオイル配合の洗剤

※「弱酸性」、「弱アルカリ性」の洗剤はご使用いただけますが、浴槽、金属・メッキ部品等が変色したり、金属がサビることがあります。
事前に目立たないところで確認の上、また長時間放置したり、洗剤の洗い残しがないようにご使用ください。

お手入れの目安

入浴のたびに汚れる部位や、日々汚れがたまっていく部位等、お風呂のお手入れはさまざま。
汚れの具合や頻度によって、計画的にお手入れされることをお勧めします。

部位	日常	週に１回	月に１回	半年に１回または汚れが目立ってきたら	参照ページ
浴槽	**❶少し熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。** ※高い場所から順番にかけます。 ※床から1mの高さまでは、特に汚れが付きやすいので念入りに洗います。 ※ドアには直接水をかけないでください。水がドアの外へ飛び散ることがあります。 **❷こびり付いた汚れはスポンジでやさしくこすり落とします。** **❸水のシャワーをかけて浴室内の温度を常温程度に下げます。** **❹残った水分をふきとり、窓を開けるか換気扇を回します。** ※十分に換気してください。（常時（24時間）換気機能付き換気設備の場合は、強運転やブロー換気をします。）	浴室用合成洗剤（中性）をかけスポンジでやさしくこすります。		浴室内の金属石けんを浴室用クリームクレンザーでこすり落とします。	11
風呂フタ		細部の汚れは歯ブラシで落とします。	おすすめ 月に1回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。	スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすります。	12
浴槽排水口		排水栓、排水コア等の汚れを落とします。		（プッシュワンウェイ排水栓） 押ボタンの汚れを落とします。	12～13

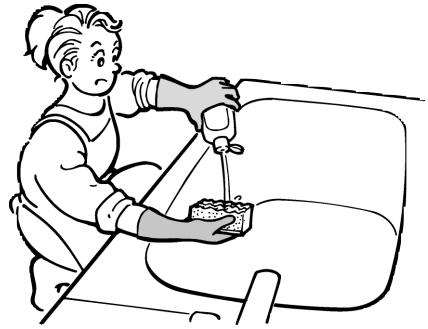
お手入れ方法

浴槽のお手入れ

週に１回

❶ 浴室用合成洗剤（中性）をかけて2～3分おき、その後スポンジでやさしくこすります。

❷ 洗剤が残らないように水で洗い流します。



お願い

浴室用クリームクレンザーは常用しないでください。浴槽にキズが付いたり、光沢がなくなることがあります。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合（浴槽のみ）。
※エプロンにはクリームクレンザーを使わないでください。

❶ スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけて、やさしくこすります。

❷ 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ポイント

浴室用クリームクレンザーを使う場合は強くこすらず、汚れを4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。

こんな汚れは　もらいサビ、銅石けんのお手入れ方法はこちら･･･

赤茶色のザラザラした汚れ[もらいサビ]がついた場合
浴室用クリームクレンザーや歯磨き粉を布に付けて表面にキズを付けないようにやさしくこすり落とします。

青緑色の粘りのある汚れ[銅石けん]がついた場合
浴室用クリームクレンザーを使用します。強くこすらず、汚れ部分を4～5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。

汚れの種類	洗剤例
もらいサビ	・ジフ(ユニリーバ) ・スーパークリーナー 万能Jrくん(マルシン)
銅石けん	ジフ(ユニリーバ)

※詳しくは「用意するもの」(P.9、10)をご覧ください。

追いだき口（循環口）のお手入れ

追いだき口（循環口）の取扱説明書をよくお読みになりお掃除してください。
※フィルターに湯アカや毛髪がたまると、目詰まりを起こし、湯沸し機能が正しく働かない場合があります。

お願い

●市販の風呂釜用洗浄剤に記載されている注意事項、使用方法にそってご使用ください。
※風呂釜用洗剤には1口用と2口用があります。追いだき口に適合する風呂釜用洗浄剤をお使いください。
※詳しい内容は、機器の取扱説明書をご参照ください。

●お掃除の後は、循環口カバーを正しい位置に固定してください。
※循環口カバーが正しい位置に固定されていないと、給湯器の温度制御ができず、沸きあがりの温度がずれる原因となります。

●取り除いたゴミ等は、排水管に直接流さないでください。
※排水管が詰まる恐れがあります。

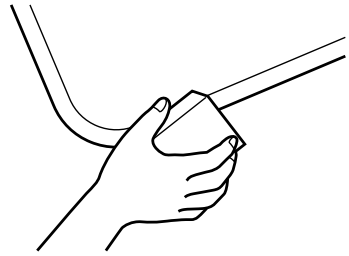
お手入れ方法

風呂フタのお手入れ

週に１回

❶ 浴室用合成洗剤（中性）とスポンジで細かい部分は歯ブラシで洗います。

❷ 洗剤が残らないように水で洗い流します。
※月に一回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。



汚れが目立ってきたら

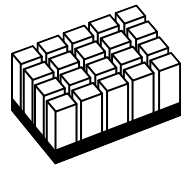
浴室用合成洗剤（中性）で落ちない汚れ（水アカ等）の場合

❶ スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけて、やさしくこすります。

❷ 洗剤が残らないように水で洗い流します。

ポイント

ナイロンたわし付スポンジに1cm角の切れ込みを入れて洗えば、巻フタ用スポンジの代わりになります。（ナイロンたわしの面は使わないでください。）



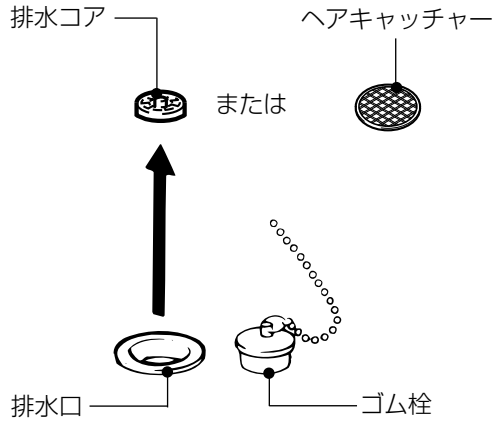
浴槽排水口のお手入れ

■ゴム栓の場合

週に１回

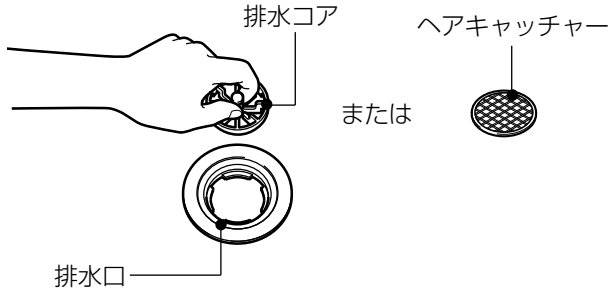
❶ 排水コアまたはヘアキャッチャーのツマミをつまんで取り出しゴミを取り除いてください。

※ 排水コアやヘアキャッチャーのない浴槽もあります。
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管が詰まる恐れがあります。



❷ 排水コアまたはヘアキャッチャーを排水口に取り付けます。

※ 斜めに浮いた状態にならないよう、向きに注意して排水口の奥までしっかり押し込んでください。
押込みが不十分な場合は浴槽の湯張りができなくなります。
※ 排水コアやヘアキャッチャーを外したまま使用しないでください。排水管が詰まったり悪臭が発生する恐れがあります。



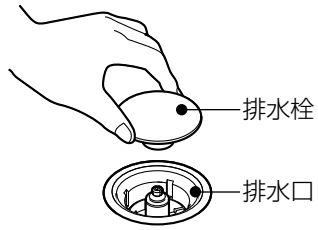
お手入れ方法

■プッシュワンウェイ排水栓の場合

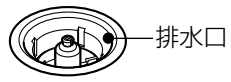
●排水口のお手入れ

週に１回

❶ 排水栓（密閉栓）を開け、まっすぐ上に引っ張って取り外します。

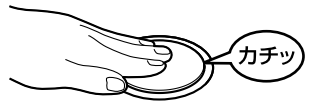


❷ 排水口についているゴミを取り除きます。



❸ 排水栓を閉めて、排水口に取り付けます。

※「カチッ」というまではめ込んでください。

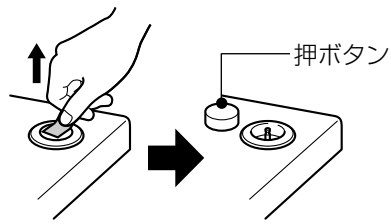


❹ 浴槽上縁にある押ボタンを数回押して排水栓の開閉を確認してください。

●押ボタンのお手入れ

汚れが目立ってきたら

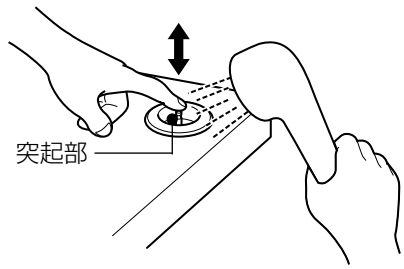
❶ 押ボタンにガムテープもしくは吸盤を張って、１度押し込んでから引き上げ、押ボタンを外します。



❷ 外れた押ボタンのヌメリやゴミを取り除きます。

※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管が詰まる恐れがあります。

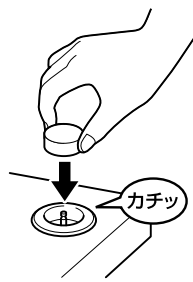
❸ シャワーを当てながら中央の突起部を押し、上下に動かしてください。動きがスムーズになるまで続けます。



※ 押ボタンに入り込んだ水は浴槽下から排水されるので問題ありません。

❹ 押ボタンを取り付けます。

※「カチッ」というまではめ込んでください。



お手入れ方法

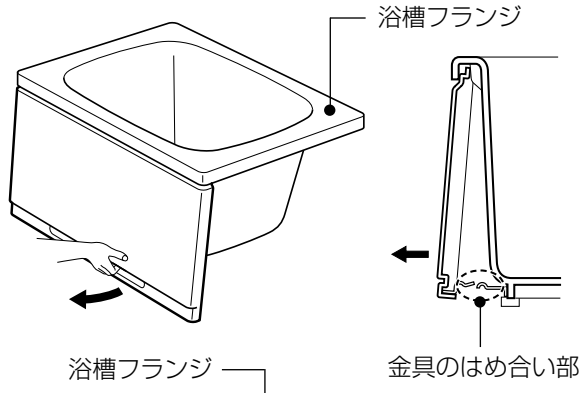
浴槽下のお手入れ

■浴槽エプロンの取外し・取付け

エプロンを取り外す際は下記要領にてお願いいたします。
※ 下記以外のエプロン本体に着脱方法が記載されているラベルが張られている浴槽については、ラベルの着脱方法に従って取り外してください。

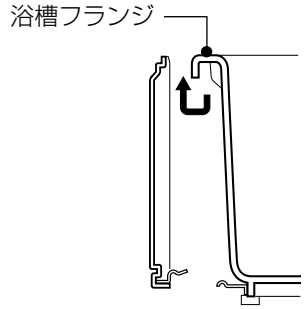
●PB-1102AL(R)　PB-1212VWAL(R)　ABN-1112VWAL(R)
PB-1202AL(R)　PB-1112VWAL(R)　ABN-1212VWAL(R)
PB-1102WAL(R)　PB-1202WAL(R)

❶ エプロン下部を手前に引き、金具のはめ合い部を外します。



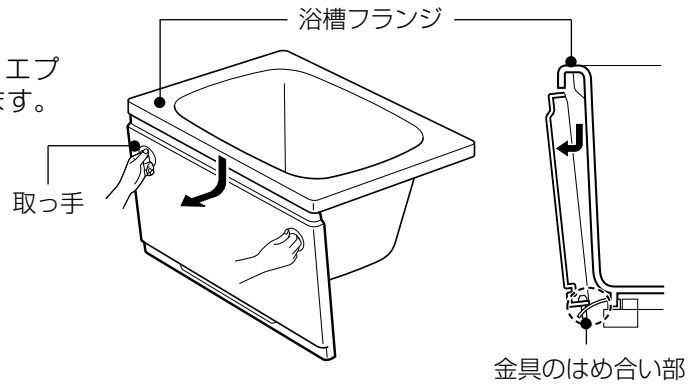
❷ エプロン上部を浴槽フランジ部から抜きます。

※ エプロンの取付けは逆の順序で行ってください。



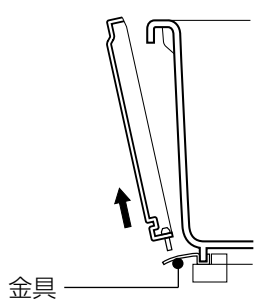
●PB-1112VWAL(R)/L11-G

❶ 取っ手を持ちエプロン上部を押し下げ、エプロン上部を浴槽フランジ部から引き抜きます。



❷ エプロンを持ち上げ、下部と金具とのはめ合い部を外します。

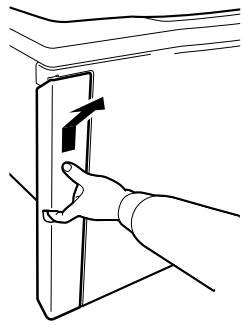
※ エプロンの取付けは逆の順序で行ってください。



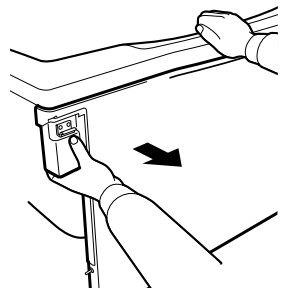
お手入れ方法

●PB-1122VWAL(R)

❶ 点検口の縁にある凹部に指をかけ、引き上げながら手前にスライドさせ点検口を外します。

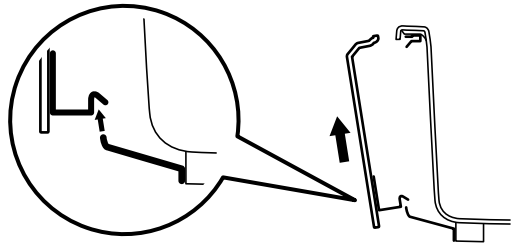


❷ エプロンの上部の両端を手前に引き、金具から嵌め込みを外します。



❸ エプロンを引き上げて取り外します。

※ エプロンの取付けは逆の順序で行ってください。



故障かな？と思ったら

よくあるお問い合わせ

部　位	現　象	原因	確認・対応方法	参照ページ	
浴槽	お湯がたまらない（翌朝浴槽のお湯が減っている）	排水栓、排水コアが正しく取り付いていない。	排水栓、排水コアを正しく取り付けます。	12、13	左記の対応をしても直らない時は、修理を依頼してください。
	排水に時間がかかる	排水口、排水コアにゴミがたまっている。	排水口、排水コアのお掃除をします。		
	次の方が入ったときにお湯がさめている	風呂フタをしていないため、お湯がさめやすい。	風呂フタをします。	－	
風呂フタ	風呂フタと浴槽の間から湯気が出る	浴槽上面には水残りを低減するための勾配がついているため、風呂フタとの間にすき間ができる。	異常ではありません。	－	
プッシュワンウェイ排水栓	押ボタンの動きが悪い	押ボタンが汚れていたり、ゴミがたまっている。	押ボタンをお掃除します。	13	
追いだき口（循環口）	湯沸し機能が正しく働かない	循環口のフィルターが目詰まりしている。	循環口のフィルターをお掃除します。 ※詳しい内容は機器の取扱説明書をご参照ください。	11	

このような場合は、使用を中止して修理をご依頼ください

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 異常のまま使用を続けると漏水の恐れがあります。

部位	現象	対応方法	連絡先
排水栓	ゴム栓の玉くさり取付部がとれた	使用を中止して修理を依頼してください。 ※放置すると漏水して家財等をぬらす原因となります。	販売店または LIXIL修理受付センター

このような場合は、修理・交換部品をご依頼ください

部位	現象	対応方法	連絡先
排水栓	排水栓、排水コアを正しく取り付けても浴槽にお湯がたまらない（翌朝、お湯が減っている）	ゴム栓、またはプッシュワンウェイ排水栓（密閉栓）を交換します。	販売店でお求めください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

※以下の部品は消耗部品のため、保証期間内でも有料となります。
- ゴム栓、排水栓
- 風呂フタ

など

ご連絡していただきたい内容

1.おなまえ･おところ･電話番号
2.商品名･品番
3.取付年月日
4.故障内容･異常の状況（できるだけ詳しく） ←P.16からの「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411

FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

アフターサービスについて

アフターサービスについて

■保証と保証期間について

当浴槽は、取付日より起算して、浴槽本体は5年間、排水栓については1年間（BL品は2年間）を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、有料による修理とさせていただく場合がございます。詳しくは、保証書をご覧ください。

■部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年（BL品は10ヶ年）です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。
※ 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

定期点検について

定期点検については、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

※消耗品（パッキン等）の磨耗や劣化により生じた不具合は、部品交換（有料）が必要です。
※シーリング材は年数の経過により劣化するものなので、5年に1度を目安に点検・補修（有料）が必要です。
※消耗品（パッキン等）の磨耗・劣化や、シーリング材の劣化による切れ・はがれは漏水の原因となることがあります。

廃棄について

浴槽を廃棄処分する場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼いただくようお願い致します。
浴槽廃棄部材の不法投棄等がありました場合は、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9：00～18：00
　　土日・祝日　　9：00～17：00
　　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPB-0061(13042)

プラ　袋:PE